



次のa～jについて、

① (1) (1) (10) にはいる漢数字をそれぞれ一字ずつ答えなさい。

② a～jのことばのあとに続けるのに最もふさわしい内容を、下のア～コからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を二度以上用いることはありません。

- a うそ (1) (2) を並べたてて
b (3) の (4) の言う前に
c (5) 聞は (6) 見にしかずで
d (7) 把 (8) からげに
e (9) か (10) か
f 二進も三進もいかないので
g 二の句がつげないほど
h 三十六計
i 紙一重の差で
j 親の七光りでは

- ア くくつてしまう。
イ 相手を煙にまく。
ウ あきれてしまう。
エ まず現地に行く。
オ やることをやれ。
カ 逃げるにしかず。
キ 大勝負をいどむ。
ク 人気は続かない。
ケ 手助けを頼んだ。
コ 相手にうち勝つ。

次の文章は北杜夫さんが書いた『怪盗ジバコ』というユーモア小説の一節です。怪盗ジバコは世界中の人々をおどろかせるような大がかりな盗みをはたらく盗賊で、彼の部下は世界各地に暮らしています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

一九六四年、トウキョウ・オリンピックは終わった。それは見事な成功裡に幕を閉じた。ところがその後、オリンピックボケ、あるいはオリンピック妄想症というような症状がマンエンした。

ジバコの数多の子分のうち、日本人の部下の多くが、このオリンピック妄想症にとりつかれた。つまり、あれほど声援したのに負けて口惜しい、なんとかして勝ってやりたい、今度のメキシコには（a）という大選手が現れぬものか、という思考をたどっていつて、ついにはその大選手はほかならぬ自分である、という観念に到達する妄想病である。

あるやさ男のジバコの部下は、オリンピックのテレビのすべてを見たのであるが、なかなく重量あげに魅せられてしまった。見るまえば、重量あげなんてバツカじやなかるかと思つていたのだが、いざその競技の実況をつぶさに見、バーベルの重量が次々とあげられ、すべりどめの粉を手につけバンドをしめなおして、選手たちが無念無想の表情で精神を統一しているさま、ぐつとバーベルにとりつく瞬間、「あがりました、遂にあがりました！」というアナウンサーの昂奮が、彼の内部におしり、頭に住みつき、とうとう自分をメキシコで重量あげに出場する選手であると思ひこませてしまったのだ。

彼の好んで夢想するのは、次のような場面である。

彼はもちろんヘビー級に出場する。おそらくフェザー級ではミヤケ選手がメキシコでも日章

旗をあげてくれるだろうし、なんといっても「世界一の力持ち」はヘビー級の勝者なのだ。

そして、いよいよメキシコで彼の出場の妄想場面となる。しかし、何時間という孤独の戦いは、憂色こいものがあつた。プレスでは手がすべつて、三位の成績にとどまった。得意のスマッチでは、ここぞという三回目の試技に、パンツの紐が切れ、不本意にも四位にとどまった。とうとう最後の（1）ジャークである。だが、それはソ連選手たちの得意とする種目なのだ。日本の監督とコーチはすでに目を床に伏せている。

東京オリンピック二位のウラソフが二百十八・五キロを挙げた。トータルは五百七十四キロ、世界新記録である。だがそのすぐあと、前回の優勝者ジャポチンスキーが、二百十九・五キロに挑み、見事に成功した。トータルで〇・五キロを上まわる。彼はコーチにかつがれ、満面に笑みをたたえて競技場を去つた。すでに優勝は決定したも同様である。

「さて、残りしました日本のカツマタ選手、どういう作戦をとりますか」と、アナウンサーが言っている。

「ジャポチンスキーを上まわるには、二百三十キロを試みなければなりません。これは人間わざでは不可能でしょう。おそらく同じ二百十九・五キロを試み、三位入賞を狙うのではありますまいか」

だが、アナウンサーはすぐに昂奮して叫びだした。

「電光掲示板がきました！ 二百三十キロ！ ついにやります！ やらうとしています！ 敗れて悔なきその敢闘精神！ カツマタ選手は玉砕を狙ったようです。祖国の皆さま、その（2）闘魂に拍手を送ってください！」

バーベルが新しく、（3）重量に直された。彼は競技場へ、無数の観客の目のまえに姿

※成功裡に

成功した状態で。

※妄想

想像したことを真実であると固く信じてしまうこと。

※ヘビー級・フェザー級

選手の体重によって分けられた重量あげの階級。

※プレス・スマッチ・ジャーク

重量あげの各競技種目の名前。

※玉砕

負けることを覚悟して戦いにいどむこと。

を現わした。無造作にすべりどめの粉をまぶす。深呼吸をひとつ、ずかずかと歩みよってバーベルの手の位置を決める。

「ああ、これは無理だ、とてもあがるまい！」
と、アナウンサーはうめいた。

(b) 手に堪えがたい重量がかかる。ナムサンポウ、(c) 持ちあげる。反動を利用して、神よ仏よ、そのまま頭上へ。

「あっ、あげました！ 挙がりました！ ついに奇蹟！ 優勝、カツマタ選手、見事優勝であります！」

夢想がここまで及んだとき、——彼はそのとき食卓についていた——彼の妻が、
(d) なにかびん詰を渡した。

「その福神漬、あけてよ」

彼はびんを取り、なにげなく軽くあけようとした。ふたは動かない。満身の力をこめ、全筋肉をふるわしたが、やはり動かない。

妻が言った。

「なによ、開かないの？ ちょっと貸して」

そして妻がエイと力をこめると、ふたはちゃんと動いたのだ。――

「彼はある宝石店に忍びこんだが、しかも宝石を盗るつもりではいりこんだのだが、サイダーの王冠を盗んできたりした。」

※ナムサンポウ
仏様にすがりたいと
いう祈りのことば。

問一 文中の () 部 a、d にはいることばとして最もふさわしいものを、次のア～キの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を二度以上用いることはありません。

ア えいと	イ プイと	ウ ポイと	エ ぐいと	オ キツと
カ カツと	キ アツと			

問二 文中の () 部 1～3 にはいることばとして最もふさわしいものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を二度以上用いることはありません。

ア めまぐるしい	イ 雌雄を決する	ウ あくなき	エ 途方もない
オ ちゃちな			

問三 文中の——線部①③のそれぞれのことばの本文中での意味として最もふさわしいものを、各群のア～オの中

中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①「やさ男」

- ア 見るからに上品でやさしい感じの男性
- イ 体つきが細くてたよりない感じの男性
- ウ 外見はやさしいが芯のある感じの男性
- エ 体格は立派なのに弱々しい感じの男性
- オ 見た目も内面も力量のある感じの男性

②「なかんずく」

- ア 時に
- イ 実は
- ウ 特に
- エ 今や
- オ 後に

③「つぶさに」

- ア 目の当^またりにして
- イ もれなく事細かに
- ウ じつと考えながら
- エ 静かに集中しつつ
- オ 実際の事実として

問四 文中の——線部A「あれほど声援したのに負けて口惜しい」とありますが、このような気持ちを漢字三字で

あらわすとしたら、どのようなことばがふさわしいですか。文中から抜き出して答えなさい。

問五

文中の——線部B「とうとう自分をメキシコで重量あげに出場する選手である」と思いこませてしまったのだ」とありますが、これはなぜですか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 当時の日本人はみなオリンピックの魅力に心をうばわれ、次のメキシコ大会ではさらなる大選手の登場を願っていたが、カツマタ氏もまたそんな日本人のひとりだったから。
イ トウキョウ・オリンピックの重量あげでミヤケ選手がメダルを取れなかったことが残念でたまらず、次のメキシコでは何としても日本にメダルを持ち帰ってほしかったから。
ウ カツマタ氏ばかりではなく、当時の日本人はトウキョウ・オリンピックでの成功が次のメキシコ・オリンピックにもそのままつながつていてほしいと強く望んでいたから。
エ ジバコの部下であるカツマタ氏は、宝石を盗むにせよ、オリンピックの舞台で活躍することにせよ、自分が人々の注目をあびるような場面を夢想することが好きだったから。
オ トウキョウ・オリンピックのテレビを見ているうちに重量あげのおもしろさに引きこまれ、メキシコ大会ではより多くの階級で勝ってやりたいと強く願うようになったから。

問六

文中の——線部C「彼の好んで夢想するのは、次のような場面である」とありますが、その内容としてふさわしくないものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 彼の夢想の中では、ジャポチンスキーが二百十九・五キロを挙げた段階で、ジャポチンスキー自身も優勝を確信した。
イ 彼の夢想の中では、前代未聞の重量にいどうとする彼をアナウンサーがほめたたえる一方、無茶な判断をいさめた。
ウ 彼の夢想の中では、最後の試技においても彼自身まようことはなく精神を集中させながら競技にのぞむことができた。
エ 彼の夢想の中では、さまざまな逆境をはねかえした上で彼自身が望んでいた「世界一の力持ち」になることができた。
オ 彼の夢想の中では、メキシコ・オリンピックのヘビー級重量あげ競技で世界新記録が立て続けに三つ出たことになる。

問七 文中の——線部D「憂色こいものがあつた」とは、どういうことですか。次のア～オの中から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 会場が息をのむほどの活躍だった。
イ 国中の期待を一身に背負っていた。
ウ うまくいきそうもない展開だった。
エ 世界中の人々から絶賛されていた。
オ 仲間の笑いをさそう状況^{じやうきやう}だった。

問八 文中の——部にはいる内容として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア それ以来、彼、幻想^{げんそう}のカツマタ選手は、オリンピックの晴れやかな舞台ではなく、地道に努力を重ねていく練習シーンばかりを夢想するようになった。
イ それ以来、彼、幻想のカツマタ選手は、ふたたびオリンピックのテレビばかりを見るようになり、さらにひどいオリンピック妄想症になってしまった。
ウ それ以来、彼、幻想のカツマタ選手は、妻にいつさい頭が上がらなくなってしまい、前にもまして怪盗ジバコの手下としての仕事に熱心に取り組んだ。
エ それ以来、彼、幻想のカツマタ選手は、ひどい自信喪失^{そうしつ}と自己嫌悪^{けんお}のとりことなり、怪盗ジバコの手下としても、ものの役に立たなくなってしまった。
オ それ以来、彼、幻想のカツマタ選手は、家にいれば福神漬^{ふくしづ}のびんと格闘^{かくとう}するようになり、彼の腕力^{わんりよく}は怪盗ジバコの手下の中で最も強くきたえられた。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい(文中の「.」「や」「.」は原文のまま使用しています。抜き出すをする場合は、「.」「や」「.」と表記してもよいものとします)。

「海外に留学しなければ英語はうまくならない」

「英語の成績が悪いお前なんか通訳者になれるはずがない」

(a) 私が「通訳者になりたい」と口にした時、親や教師はいつもこのように言いました。

小学校低学年の頃のことです。あるテレビ番組でたまたま同時通訳者を目にしたことがありました。その時のことはいまでも鮮明に覚えています。全身に衝撃が走ったのです。英語を話している人のすぐ隣にいて、私がまったく理解できない言葉をすごいスピードで日本語に切り替えて伝えている。同時通訳者を見て、これはスゴイ！と感じ、直感的に、自分もこの能力を手に入れたい！英語を使えるようになりたい！と思いました。

その頃の私は、走るのも遅いし、運動も不得意だし、絵を描くのも苦手だし、なにをやっても上手いはず、得意なことにはなにもありませんでした。けれども、テレビで同時通訳の様子を見た瞬間、これだけはやりたい！と突き動かされるような思いを抱いたのです。生まれて初めて自分の意思で「何かをやりたい！」「成し遂げたい！」と思った瞬間でした。

(b) ふり返ってみると、幼い時から「言葉」が好きだったのだと思います。一つ一つの「言葉」の音のイメージや意味を考えるのが好きで、頭の中であれこれイメージを広げながら、「言葉」をおもちやのようにして遊んでいたような覚えがあります。親の本棚に並べてあ

る本を抜き取ってページをめくって、わからない言葉を片っ端から辞書で調べたりするのも好きでした。小学校の時から筒井康隆の本が好きで読んでいました。

けれども、小学生の時に抱いたこの夢が、その後、(c)私を苦しめることになります。唯一好きになったのが英語。英語ってどんな言葉なんだろう、少しでもはやく勉強をしたいという気持ちが湧き起こってきました。ところが、親に英語の勉強をしたいと言っても、父は、「そんなものは大きくなってからいい！英語よりもまず日本語の能力を磨け」と、まともに取り合ってくれませんでした。

いろいろな人に相談しても「海外に行かないと英語はうまくならない」などと否定的なことばかり言われ、親に「いつか海外に行って英語の勉強をしたい」と言ったこともありますが、もちろん色よい返事は返ってきませんでした。その一方で、同じ大人たちから「夢を諦めるな」「個性を持て」「国際人にならなさい」などとよく言われ、とても戸惑ったことを覚えていま

※悶々

悶々としながら過ごした小学校を卒業して中学校へ入学しました。さあ(d)学校で英語の勉強ができるぞ、と思いました。

しかし、期待に胸をふくらませ、わくわく入学した中学校の生活は、すぐに失望へと変わっていくことになります。出会った先生たちは言うんです。「英語が自在に使えるようになるにはやっぱり外国に住まないとだめなんだよな」と。

ものすごいショックでした。できない理由ばかり並べられてしまうのです。そんなことを言われるとやる気がなくなりますよね。中学生が(e)外国に行けるわけがありません。「で

※悶々

もだえ苦しむ様子。

きない理由」より、「いますぐできること」を教えてほしいと強く願ったものです。あの時をふり返ってみると「いまこういうことをやっておけばいいんだ！ そうすればこんなことができるようになるから！」という実現可能で明確な目標があればよかったのだと思います。この本はそのために書かれています。

たとえ小さな目標であつてもそれを達成できれば少し自信がついて、また次のステップに進むことができる。これは必ずしも語学でなくてもよいと思いますが、目的をもつて、それに向かつて全力で取り組み、達成することで自信を持つ。それによって他人との比較ではなく、心の底から湧き出す自己肯定感 (self-esteem) をもつことができます。そういうことが大切だと思うのです。

Self-esteem: 私がとても大切にしている言葉です。これは英語も含めたあらゆる学習において「理想とする自分に対する自信」と表現できるでしょう。

これは外側にいる他人と比較して優位を感じたり自己の劣勢を隠そうとするプライド (pride) とは違い、欠点を含めて自分らしさを受け入れ自らの存在そのものに価値があることを理解し大切にすると、自分の内側にあるしなやかで揺るがない心のあり方です。自分も他人も同様に大切に、謙虚に、しかも堂々と物事に取り組むことを可能にします。

このように書く道徳論のように聞こえるかもしれませんが、実のところその範疇を大きく超えて、現実的な上達と密接にかかわっているのです。

ありのままの自分を大切にできることは、自分を主人公にして英語の瞬発力をつける学習において、とても大切な効果をもたらします。

この self-esteem が自分の心の礎にあれば、失敗や困難に出遭つてもそこから再び挑戦する

※範疇
範囲。

※礎
土台の部分。

「本当の強さ」を発揮することができるのです。

(出典・横山カズ『英語に好かれるとっておきの方法 4 技能を身につける』)

問一 文中の () 部 a ~ e にはいることばとして最もふさわしいものを、次のア ~ オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を二度以上用いることはありません。

ア やつと イ ずっと ウ すぐに エ かつて オ いま

問二 本文中から次の一文が脱落しています。この文が入る場所を見つけ、直前の文の最後の十字を抜き出して答えなさい (句読点や記号も一字にふくめるものとします)。

脱落文

「どうせ、自分にはできない」と何事もやる前から諦めてしまうようなところがありました。

問三 文中の——線部 A「その時のこと」とありますが、具体的にはどんな時のことを指していますか。「…時のこと。」という形につながるような十四字の表現を——線部 A より後の文中から抜き出して答えなさい (句読点や記号も一字にふくめるものとします)。

問四 文中の——線部B「とても戸惑った」とありますが、なぜ筆者はこのような気持ちになったのでしょうか。

その説明として最もふさわしいものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア なにをやってもうまくいかなかった自分が、同時通訳者になって国際的な舞台で活躍したいという明確な夢をもつことができたのに、その気持ちを認めてくれなかった大人たち自身が「夢を諦めるな」「個性を持って」「国際人になりなさい」といった非現実的なことばかりを言うから。

イ 小学校低学年の時にめばえた同時通訳者になりたいという夢をぜひかなえたいと強く願っている自分に対し、いつも「夢を諦めるな」「国際人になりなさい」と話している大人たち自身が「英語の成績が悪いお前などが通訳者になれるはずがない」と否定的なことばかりを言うから。

ウ 幼い時から言葉をおもちゃのようにして遊んでいた自分が英語という外国語に強い興味を持ち、将来は同時通訳者になりたいという夢を話したら、いつもは「夢を諦めるな」「個性を持て」「国際人になりなさい」と話していた大人たちが急に現実的なことばかりを言い始めたから。

エ 同時通訳者のように英語を自在にあやつれるようになりたいという自分なりのはつきりとした夢を持っているのに、その実現に向けた相談をしても否定的なことばかり言う大人たちが「夢を諦めるな」「個性を持て」「国際人になりなさい」などとつじつまの合わないことを言うから。

オ 生まれて初めて自分自身の中から湧き起こってくる強い思いとして将来の具体的な夢を持つことができたのに、親は「英語よりもまず日本語の能力を磨け」と言い、他の大人たちも「海外に行かないと英語はうまくならない」などと夢の実現をはばむようなことばかりを言うから。

問五 文中の——線部C「しなやかで揺るがない心のあり方」とはどのような心のあり方を言うのでしょうか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手の持っている良い面に積極的に目を向けて他者の考えに共感することを大切にしながらも、他者と比較することはせずに自分なりの考え方を最後まで貫こうとする心のあり方。

イ 自分の中の良い面と悪い面をどちらも受け入れることができるやわらかさがあり、だからこそ自分にも価値があるのだという考えをしっかりと持ち続けることができる心のあり方。

ウ 自分なりの意見については何があっても変えることのない自分に対する強い自信を持ちながら、固定観念にとらわれることなく様々な価値観を受け入れることができる心のあり方。

エ 自分も他者も同じ価値を持った人間なのだという安定した考えのもとで、相手の用いる言語に応じて様々な言語を使って対応することができ柔軟性を兼ね備えている心のあり方。

オ 人それぞれの考え方に応じて様々な受け答えを選択することができるのはばの広い対応力を持ちながらも、自分なりの価値観については決して変えようとすることがない心のあり方。

問六 文中の——線部D「謙虚に、しかも堂々と物事に取り組むことを可能にします」とありますが、これはなぜ

ですか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自己肯定感を持つことで他者に比べ自分が優位な面を大切にし、他者によばない面については素直に受け入れるようになるから。
- イ 自己肯定感を持つことで自分の存在に胸を張ることができるようになり、逆に自分に自信のない点は他者にゆずるようになるから。
- ウ 自己肯定感を持つことで自分は他者よりどんな点ですぐれており、どんな点は他者の方がすぐれているかを考えるようになるから。
- エ 自己肯定感を持つことで自分に自信と言えるものが備わっていくとともに、自分のまだいたらない点にも目がいくようになるから。
- オ 自己肯定感を持つことで他者の悪い面にも理解を示す余裕よゆうが生まれるとともに、自分の欠点についても大目に見るようになるから。

問七 次の①～⑤について、本文の内容から正しいと言えるものにはA、間違まちがっていると判断できるものについては

Bと答えなさい。

- ① 同時通訳者を見て直感的に将来の夢を見つけたという筆者ではあるが、その背景には幼いころから「言葉」が好きだったことが関係していると考えている。
- ② 中学時代の英語は小刻みなステップきざみを大切にしながら、日々の学習については目標を持って「いますぐできること」に余裕よゆうを持って取り組んでいくべきだ。
- ③ 英語力をつけていく上でも自己肯定感を持つことが大切だと述べる筆者だが、中学生のころはなかなか英語に関して自己肯定感を持つことができなかった。
- ④ 筆者のように唯一好きになった英語を自己肯定感が持てる状態になるまで学習し続けていけるような強い意思を持つていなければ、英語はうまくならない。
- ⑤ 外側にいる他人を大切にすることよりも、ありのままの自分自身を大切にしつつ理想の実現に向けて努力することを優先すれば、本当の強さが発揮できる。

「玉語」

② 記 号				① 漢 数 字	
f	a	6	1		
g	b	7	2		
h	c	8	3		
i	d	9	4		
j	e	10	5		

受 験 番 号
得 点

二							
問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
					①	1	a
					②	2	b
					③	3	c
							d

三						
問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
①						a
②						b
③						c
④						d
⑤						e

時のこと。